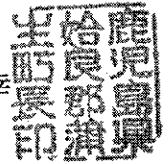


蒲 土 第 5 4 8 号
平成20年10月20日

国土交通省道路局長 殿

蒲生町長 厚地 和幸



今後の道路行政についての意見・提案について

標記の件につきまして、別紙の通り提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

様式 ①

鹿児島県蒲生町

近年、都市部と地方部の格差が益々拡大していると実感しております。都市部における交通網の整備も重要と理解しておりますが、都市部と地方部を結ぶ幹線道路・循環道路を重点的に整備していただくことにより人口集中地域の人口分散が図られ、周辺地域の人口の増加により地域間格差の解消につながると考えます。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式 ②

鹿児島県蒲生町

○現状

本町には国道は通っておらず、県道が7路線通っており、うち3路線が主要地方道である。県都鹿児島市や薩摩川内市から鹿児島空港・大隅方面へのアクセス道路、または災害時の国道の代替道路としての役割を担っている。

○課題

県道が住宅地を通っており、狭隘な区間もあるため、度々交通渋滞を引き起こしている。その上、歩道が整備されていないため、歩行者は常に交通事故の危険にさらされている。

県都鹿児島市、薩摩川内市及び鹿児島空港の中間地点に位置する地理的有利な地域特性を活かした道作りを目指したい。

例えば、薩摩川内市を通る南九州西回り自動車道路から本町、始良町を経由し九州縦貫自動車道の拠点である加治木ジャンクションを結ぶ高速道路の建設を期待する。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

鹿児島県蒲生町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・各地域に則した 道路整備	本町は日本一の巨樹「蒲生の大楠」や昔ながらの武家屋敷通り等の数多くの観光資源を有している。観光地としての景観に配慮した道路整備を望む。	観光資源と道路とが調和し、相乗効果で観光客がより一層増加することを期待する。	